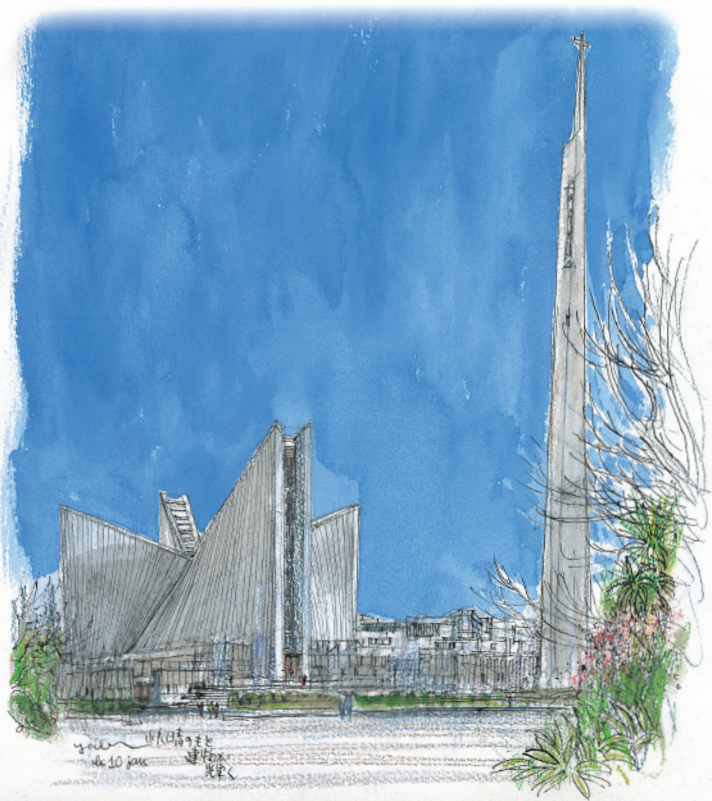


TAISEI

たいせいサークル

Circle

2006年度中間期ご報告



東京カテドラル 聖マリア大聖堂

1964年竣工 東京都文京区 丹下健三氏設計

8枚のRC造のシェルは互いに支えあい、上から見ると十字架に見える大聖堂となっている。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては平素よりご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

当上半期における建設投資は、設備投資関連を中心に民間建設は堅調でしたが、歳出抑制により公共投資は引き続き減少しました。また民間建設市場においては需給ギャップが解消しないことから価格競争が続いており、さらに公共工事においても競争激化にともない価格が低下傾向にあります。

当社はこれまで「受注の拡大」「収益力の強化」「新たな生産体制の構築」の3点を重点施策として掲げ、現在推進中の中期経営計画（2004～2006年度）において経常利益目標および有利子負債の削減目標をいずれも達成してまいりました。

2006年度はこれまで以上に厳しい経営環境のもと、3つの重点施策をさらに強化し、連結経常利益550億円、有利子負債額4,950億円以下の目標達成を目指してまいります。

またコンプライアンスの徹底、業界全体の信頼性の回復に真摯にかつ率先して取り組み、業界のトップ企業としての社会的責任を果たしていく所存です。

最後に中間配当金は1株につき3円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



社 長

葉山 莞児

営業の概況

日本経済は設備投資と個人消費がいずれも堅調に推移しており、おおむね順調な回復基調を辿りました。当上半期の国内建築は、集合住宅等に一服感が出てきたものの、活発な設備投資を受けて工場等が増加したことにより堅調でした。国内土木は、公共投資における歳出抑制等により引き続き減少しました。

海外市場は、高い経済成長が続く東南アジア、原油価格の高騰により資金が潤沢な中東産油国を中心に建設需要が旺盛で大型プロジェクトが数多く立ち上げられています。

こうした状況のもと当社は「受注の拡大」「収益力の強化」「新たな生産体制の構築」を掲げ、目標達成を目指しました。

その結果、当上半期の受注高は前年同期比5.0%増の7,189億円となりました。その内訳は建設事業98.2%、開発事業等1.8%です。また建設事業の内訳については、土木と建築の割合が30.9%、69.1%、官公庁、民間、海外工事の割合が8.1%、63.7%、28.2%です。

売上高は前年同期比13.4%増の6,373億円でした。その内訳は建設事業96.5%、開発事業等3.5%です。以上により、次期への繰越高は1兆7,809億円となりました。

利益については、経常利益は売上総利益の増加、販管費の削減などにより前年同期比94.5%増の151億円となりました。中間純利益は経常利益の増額を受けて前年同期比136.6%増の75億円となりました。

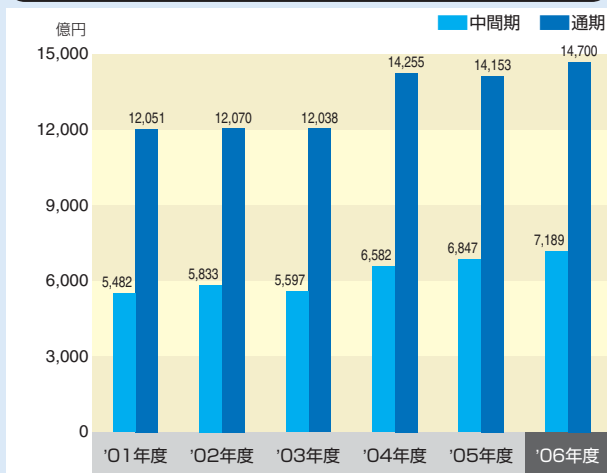
また当社グループの連結売上高は前年同期比12.0%増の7,810億円、連結経常利益は前年同期比287.6%増の166億円、連結中間純利益は前年同期比213.5%増の71億円となりました。

FINANCIAL DATA

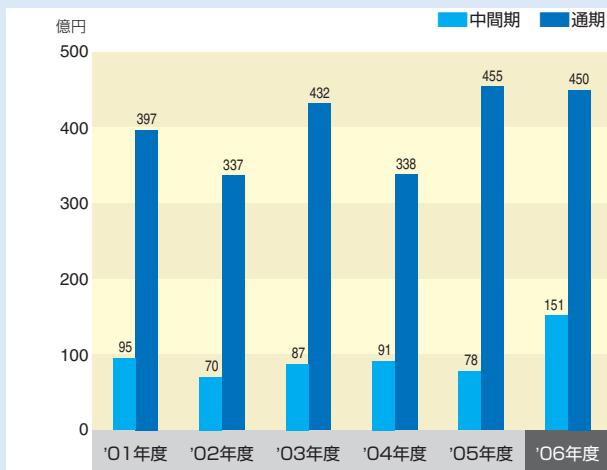
業績の推移

■ 単体 *2006年度通期は見通し。

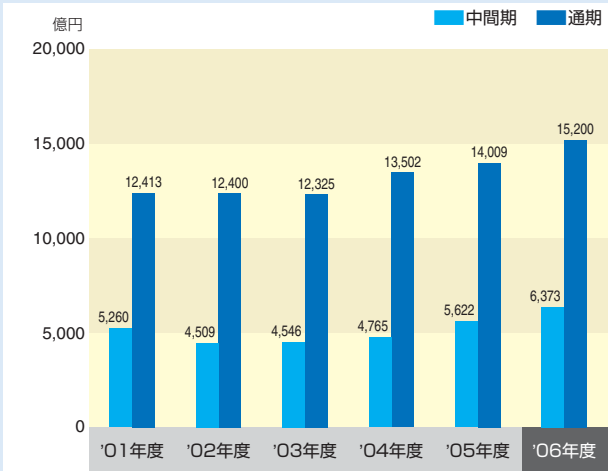
受注高



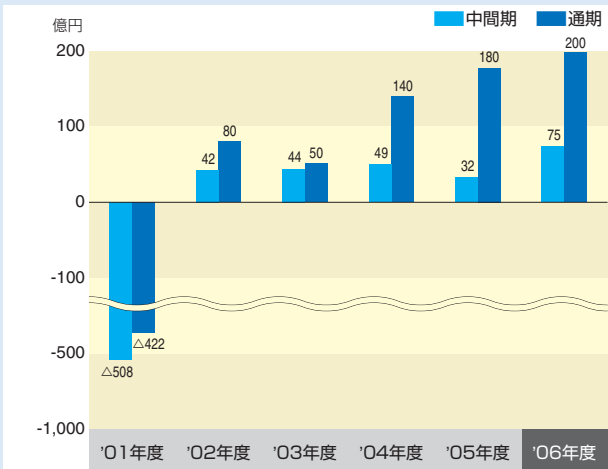
経常利益



売上高



当期純利益



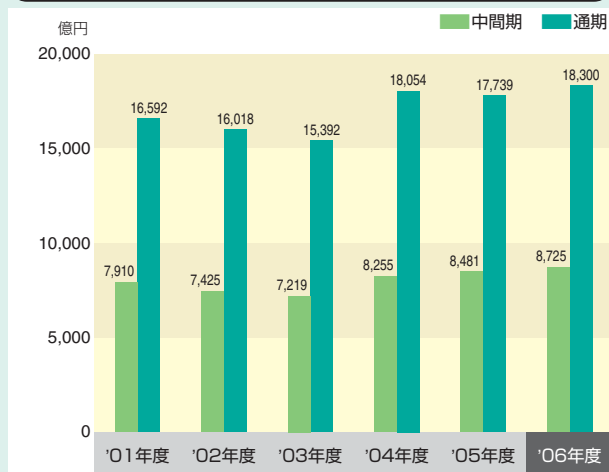
FINANCIAL DATA

業績の推移

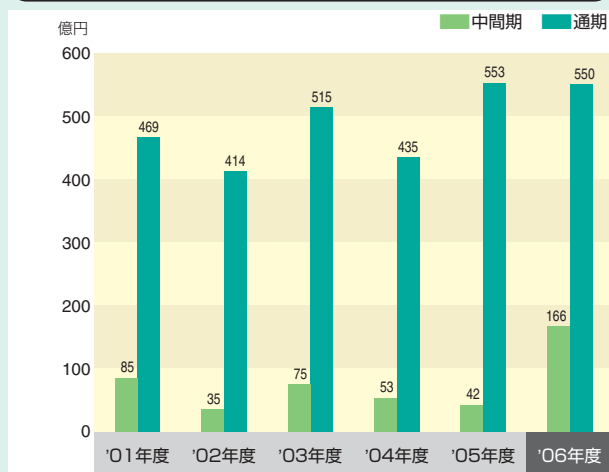
■ **連結** (連結子会社40社 持分法適用関連会社9社)

* 2006年度通期は見直し。

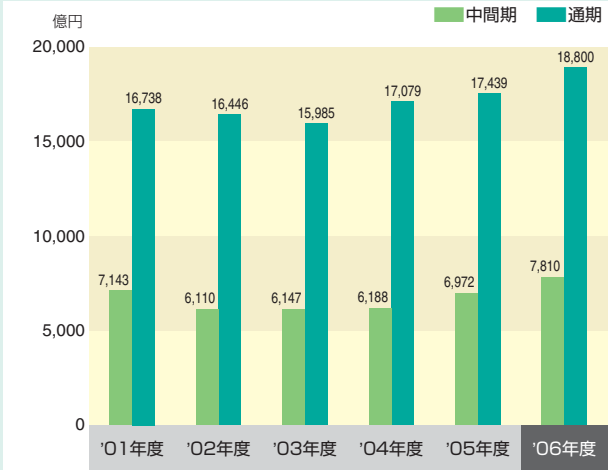
受注高



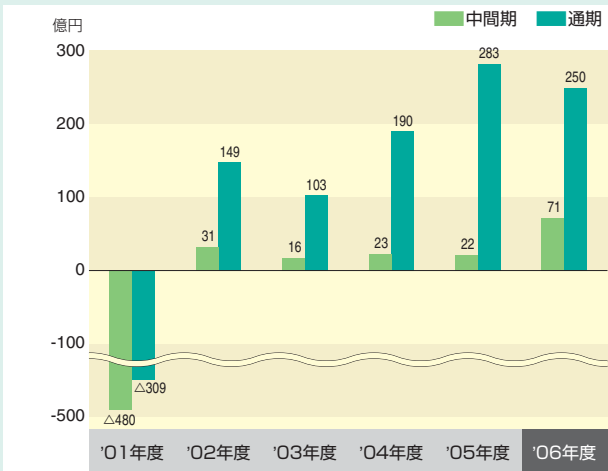
経常利益



売上高



当期純利益



2006年度中間決算のご報告

■ 中間貸借対照表の要旨 (2006年9月30日現在)

(単位：億円)

■資産の部		■負債の部	
流動資産	9,323	流動負債	9,534
現金預金	750	支払手形	365
受取手形	305	工事未払金	4,067
完成工事未収入金	3,473	短期借入金	1,623
販売用不動産	813	一年以内償還の社債	350
未成工事支出金	2,599	未払法人税等	5
開発事業等支出金	233	未成工事受入金	1,965
その他	1,153	預り金	867
貸倒引当金	△ 5	完成工事補償引当金	16
固定資産	6,222	工事損失引当金	84
有形固定資産	1,191	その他	187
土地	764	固定負債	2,636
その他	426	社債	600
無形固定資産	68	長期借入金	1,597
投資その他の資産	4,962	退職給付引当金	165
投資有価証券	3,296	関係会社投資等損失引当金	59
関係会社株式・関係会社出資金	587	環境対策引当金	3
その他	1,349	その他	211
貸倒引当金	△270	負債合計	12,171
		■純資産の部	
		株主資本	2,520
		資本金	1,124
		資本剰余金	794
		資本準備金	417
		その他資本剰余金	376
		利益剰余金	603
		その他利益剰余金	603
		固定資産圧縮積立金	30
		別途積立金	425
		繰越利益剰余金	147
		自己株式	△1
		評価・換算差額等	854
		その他有価証券評価差額金	852
		繰延ヘッジ損益	2
		純資産合計	3,374
資産合計	15,546	負債純資産合計	15,546

■ **中間損益計算書の要旨** (2006年4月1日から2006年9月30日まで)
(単位：億円)

売上高	6,373
完成工事高	6,150
開発事業等売上高	222
売上原価	5,941
完成工事原価	5,802
開発事業等売上原価	139
売上総利益	431
完成工事総利益	348
開発事業等売上総利益	83
販売費及び一般管理費	292
営業利益	139
営業外収益	49
受取利息配当金	30
その他	19
営業外費用	37
支払利息	29
その他	7
経常利益	151
特別利益	20
特別損失	30
税引前中間純利益	141
法人税、住民税及び事業税	△4
法人税等調整額	69
中間純利益	75

2006年度中間連結決算のご報告

■ 中間連結貸借対照表の要旨 (2006年9月30日現在)

(単位：億円)

■資産の部		■負債の部	
流動資産	11,229	流動負債	11,088
現金預金	1,052	支払手形・工事未払金等	4,992
受取手形・完成工事未収入金等	4,299	短期借入金	2,315
未成工事支出金等	2,977	一年以内償還の社債	360
たな卸不動産	1,667	未成工事受入金	2,221
その他	1,243	預り金	790
貸倒引当金	△11	完成工事補償引当金	24
固定資産	7,337	工事損失引当金	90
有形固定資産	2,747	その他	293
建物・構築物	910	固定負債	3,821
土地	1,675	社債	600
その他	161	長期借入金	2,185
無形固定資産	105	退職給付引当金	346
投資その他の資産	4,484	役員退職慰労引当金	8
投資有価証券	3,509	環境対策引当金	4
その他	1,033	その他	675
貸倒引当金	△58	負債合計	14,909
		■純資産の部	
		株主資本	2,497
		資本金	1,124
		資本剰余金	794
		利益剰余金	579
		自己株式	△1
		評価・換算差額等	873
		その他有価証券評価差額金	892
		繰延ヘッジ損益	1
		土地再評価差額金	△9
		為替換算調整勘定	△11
		少数株主持分	287
		純資産合計	3,657
資産合計	18,566	負債純資産合計	18,566

■ **中間連結損益計算書の要旨** (2006年4月1日から2006年9月30日まで)
(単位：億円)

売上高	7,810
完成工事高	6,915
開発事業等売上高	895
売上原価	7,138
完成工事原価	6,481
開発事業等売上原価	656
売上総利益	672
完成工事総利益	433
開発事業等売上総利益	238
販売費及び一般管理費	507
営業利益	165
営業外収益	49
受取利息配当金	25
その他	23
営業外費用	48
支払利息	38
その他	9
経常利益	166
特別利益	25
特別損失	33
税金等調整前中間純利益	157
法人税、住民税及び事業税	13
法人税等調整額	70
少数株主利益	2
中間純利益	71

こ そ ん ぼ く

枯損木の木炭化で 三宅島の復興を支援

火山ガスの影響で立ち枯れた 島内の森林を「炭」に変えて地域を活性化

噴火から6年以上を経た三宅島。2005年2月には島民の避難が解除されたものの、今なお島の約半分の地域への立ち入りが制限されています。今、その三宅島で、島の復興と島民の生活立て直しに向け、昔ながらの炭焼きが一役買い、大成建設が開発した「炭焼き窯」が活躍しています。

島には、火山ガスや火山灰の影響で立ち枯れた50万 m^3 もの大量の枯損木が存在し、その処理が緊急の課題となっていました。また、これまで三宅島の伐採木や枯損木はチップ化処理されていましたが用途に限りがありました。そこで、新しい試みとして、東京都と大成建設は共同で枯損木の木炭化を図ることにしました。

炭は今、環境に負荷の少ないバイオマス燃料として注目を集めるだけでなく、その特性を生かして土壌改良材や水質浄化材、住宅の調湿材など新しい用途が広がっています。

大成建設が提案したバッチ式炭化炉は、火山岩や粘土など現地の自然素材を使い低コストでつくれるだけでなく、作業完了後は埋め戻して自然に帰ることができるエコロジカルな炭焼き窯。昔ながらの方法にこだわったのは、島の雇用創出と地域の活性化を両立したいと考えたためです。

実験では、火山ガスなどの有害物質の残留がないことも確認され、予想を上回る良質の炭ができることが実証されました。これらの炭は、現在、東京都の河川事業において河川の水質浄化材として試用が検討されているほか、噴火によって荒廃した三宅島の樹林や畑などの再生にも活用が期待されています。

三宅島内の森林の約65%にあたる
約2,500haが被害を受けた。



バッチ式炭化炉は、
現地の自然素材を多
用しているため、低
コストで炭焼き完了
後の窯の処分も容易。



鉄製の蓋を設置して炭
焼きを行う。熱により
蓋が変形しないように
注水を行っている。現
在、この炭焼き窯のア
イデアは、特許出願中。

汐留再開発エリア「イタリア街」に コモディオ汐留、グラディート汐留完成

汐留の再開発エリア「汐留シオサイト5区(通称:イタリア街)」に、大成建設が開発型証券化の手法を用いて開発した2棟の複合ビル(コモディオ汐留・グラディート汐留)が完成しました。

「コモディオ汐留」(19街区)はオフィスと商業施設、「グラディート汐留」(18街区)はオフィス、商業施設、賃貸住宅で構成されており、両建物ともにイタリア街のにぎわいの中核として期待が膨らんでいます。

建設にあたっては、大成建設が組成したSPC(エスペリオ汐留特定目的会社)が建築主となり、大成建設が設計・施工し、完成後はミレア・ホールディングス傘下の不動産投資顧問会社「ミレア・リアルエステイトリスク・マネジメント株式会社」が組成するSPCに売却を予定しています。

2棟とも、すでにオフィスはテナント募集を終え、現在は1~2階の商業施設の一部やグラディート汐留の住宅入居者の募集を進めており、年内には全テナントが出揃い、グランドオープンする予定です。



左：グラディート汐留／右：コモディオ汐留

世界が注目する大型プロジェクト 新ドーハ国際空港旅客ターミナルビルを着工

アラビア湾に突き出た半島国カタールの首都ドーハ。わが国では、1993年に行われたワールドカップ予選で、試合終了間際のロスタイムでイラクに同点ゴールを決められ、日本の予選敗退が決まったということで有名です。

カタールといえば、原油や天然ガスの産地でも知られ、国民一人当たりのGDPはわが国を超える豊かな国です。現在、カタール政府は石油、天然ガス依存型経済からの脱却を目指し、さまざまな産業育成と並んで国際会議やスポーツ大会などのイベント誘致を進めており、今年12月にはアジア競技大会の開催も予定されています。

新ドーハ国際空港は、国の発展にともなう海外からの旅客者の増加に対応するもので、2008年9月の竣工を目指して着工されました。

現在、大成建設はトルコ企業とJVを組み、旅客ターミナルビルを建設中です。受注金額は約1,000億円。RC造およびS造5階建て・延床面積22万m²の巨大ターミナルは、銀色に輝くウエーブ型屋根とガラスのファサードのモ



大屋根を支えるアーチ柱



新ドーハ国際空港の完成予想図。将来、年間5,000万人の利用客が見込まれている。

ダンなデザインが特徴です。その屋根を支えるのが美しい曲線を描く鉄骨アーチ柱。その優美な姿を実現するため、大成建設の高度な施工技術に期待がかかっています。

UNDER CONSTRUCTION

主な施工中工事のご紹介



篠津中央二期農業水利事業
石狩川頭首工第2期建設工事
(北海道樺戸郡)



東海北陸自動車道
飛驒トンネル(その4)工事
(岐阜県飛驒市～大野郡)



千葉中央第六地区
第一種市街地再開発事業
建設工事
(千葉県千葉市)



中央合同庁舎第7号館
整備等事業建設工事
(東京都千代田区)



ジブチ
ケンピンスキーホテル
新築工事
(ジブチ共和国)



タイ バンコク産業環状道路
建設工事
(タイ王国)

CONTRACTS RECEIVED

主な受注工事のご紹介

物件名	所在地	発注者
赤坂四丁目薬研坂南地区 第一種市街地再開発事業 施設建築物新築工事	東京都	赤坂四丁目薬研坂南地区 市街地再開発組合
三重工場 300mm第二棟建築工事	三重県	富士通(株)
(仮称)新物流センター建築工事	三重県	本田技研工業(株)
アルジェリア 東西高速道路建設工事 (東工区)	アルジェリア 民主人民共和国	アルジェリア 公共事業省高速道路公団
東京国際空港国際線地区 エプロン等整備等事業	東京都	羽田空港国際線 エプロンPFI(株)

CONSTRUCTION COMPLETED

主な完成工事のご紹介

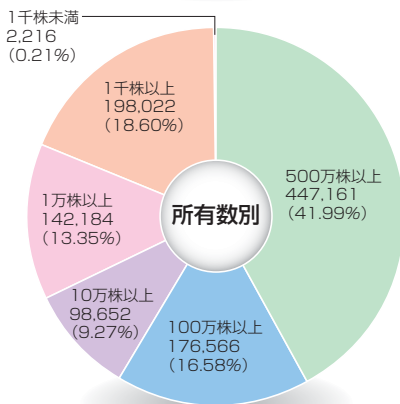
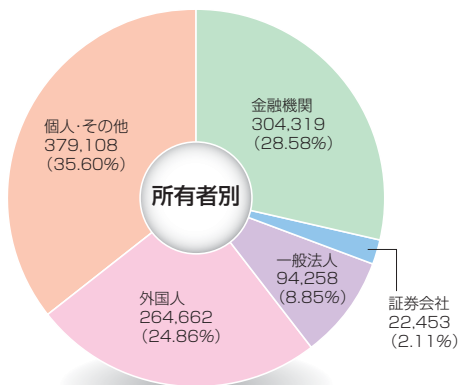
物件名	所在地	発注者
(仮称)太平四丁目錦糸町 開発計画新築工事	東京都	東京建物(株)他
ららぽーと豊洲新築工事	東京都	三井不動産(株)
(仮称)シオサイト5区 エスペリオ汐留18・19街区ビル 新築工事	東京都	エスペリオ汐留特定目的会社
岬町多奈川地区多目的公園用地 造成事業土砂採取・供給工事	大阪府	大阪府土地開発公社
綾瀬車両基地 立体交差一工区土木工事	東京都	東京地下鉄(株)

株式の状況 (2006年9月30日現在)

●株式の異動

発行可能株式総数	2,200,000,000株
発行済株式の総数	1,064,802,821株
当中間期末株主数	108,698名
当中間期中の名義書換件数	1,213件
当中間期中の名義書換株式数	25,722,874株

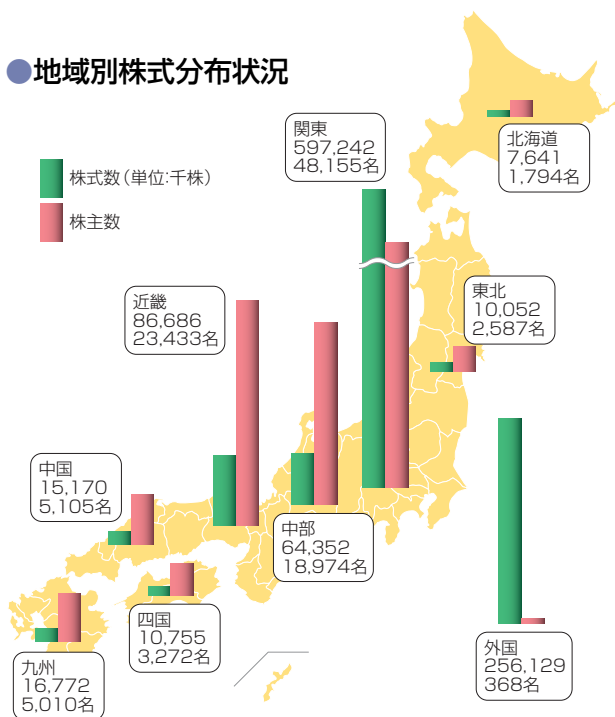
●株式分布状況 (単位：千株)



● 株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	63,187	5.93
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	58,452	5.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,005	2.91
大成建設社員持株会	26,991	2.53
みずほ信託退職給付信託 みずほコーポレート銀行口	23,180	2.18
大成建設取引先持株会	20,280	1.90
三菱地所株式会社	17,604	1.65
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	16,108	1.51
明治安田生命保険相互会社	15,741	1.48
住友信託銀行株式会社 (信託B口)	14,020	1.32

● 地域別株式分布状況



会社の概要 (2006年9月30日現在)

●商号

大成建設株式会社
(英文名 TAISEI CORPORATION)

●設立年月日

1917年(大正6年)12月28日

●資本金

112,448,298,842円

●本店

東京都新宿区西新宿一丁目25番1号新宿センタービル
電話 03(3348)1111

●従業員数

9,284名

●支店

東京支店(東京都新宿区)	横浜支店(横浜市)
関西支店(大阪市)	北信越支店(新潟市)
名古屋支店(名古屋市)	四国支店(高松市)
九州支店(福岡市)	千葉支店(千葉市)
札幌支店(札幌市)	関東支店(さいたま市)
東北支店(仙台市)	神戸支店(神戸市)
広島支店(広島市)	京都支店(京都市)

●事業本部

住宅事業本部
国際事業本部(国際建築支店・国際土木支店)

●技術センター(横浜市)

●国内営業所等

66か所

●海外営業所

ソウル営業所	インド営業所(ニューデリー)
台北営業所	中東営業所(アブダビ)
高雄営業所	北アフリカ営業所(トリポリ)
フィリピン営業所(マニラ)	ヨーロッパ営業所(フランクフルト)
ミャンマー営業所(ヤンゴン)	アメリカ営業所(カリフォルニア)
クアラルンプール営業所	ペルー営業所(リマ)
ジャカルタ営業所	

● **役員** (2006年10月1日現在)

■ **取締役**

取締役会長	平島 治
代表取締役社長	葉山莞児
代表取締役	本田泰三
代表取締役	市川正美
取締役	鶴田宣彦
取締役	南部邦彦
代表取締役	詫間博康
取締役	園田邦之
取締役	増田光男
取締役	山田 浩
取締役	山内隆司
取締役	岡本 敦
取締役	関谷哲夫
取締役	山本恵朗

*関谷哲夫、山本恵朗は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

■ **監査役**

常任監査役(常勤)	潮田 徹
常任監査役(常勤)	田丸 浩
監査役	山本 正
監査役	樋口武文
監査役	岡村 甫

*山本 正、樋口武文、岡村 甫は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

■ **執行役員**

※社長	葉山莞児
※副社長	本田泰三
※副社長	市川正美
※副社長	鶴田宣彦
※副社長	南部邦彦
※副社長	詫間博康
※副社長	園田邦之
専務役員	伊藤美喜男
※専務役員	増田光男
※専務役員	山田 浩
専務役員	萩原弘道
専務役員	岡崎洪太郎
※専務役員	山内隆司
専務役員	高橋大輔
専務役員	名和洋介
※専務役員	岡本 敦
専務役員	寺下 均
常務役員	菊岡保人
常務役員	井川文雄
常務役員	小倉勝彦
常務役員	可児才介
常務役員	小林将志
常務役員	五木田通夫
常務役員	鎌田 勝
常務役員	前田 誠
常務役員	山田潤二
常務役員	久間忠勝

常務役員	駒井勇夫
常務役員	藤原義弘
常務役員	河村壮一
常務役員	市原博文
常務役員	窪添貴治
常務役員	荒井康博
常務役員	久保博司
執行役員	中山靖之
執行役員	瀬川昌彌
執行役員	茂手木信行
執行役員	多田博是
執行役員	阿久根操
執行役員	近江秀味
執行役員	吉田達夫
執行役員	小菅 誠
執行役員	古厩 孝
執行役員	尾形 悟
執行役員	井出光康
執行役員	関根 繁
執行役員	小野沢潔
執行役員	藤原基文
執行役員	吉田 明
執行役員	小島章伸
執行役員	富永敏男
執行役員	岸本孝夫
執行役員	林 隆

※は取締役兼務者です。

大成グループ

グループビジョン

CSを原点に技術とノウハウで新しい価値を創造する企業グループ

【主なグループ会社】

建設事業	大成ロテック(株) 〒104-0031 東京都中央区京橋3-13-1 有楽ビル Tel 03-3567-9431 (代表)	道路舗装工事、その他土木工事、舗装用アスファルト合材の製造・販売等 東証1部上場
	大成ユーレック(株) 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-23-1 第3TOCビル Tel 03-3493-4941 (代表)	集合住宅の企画・設計・施工、リニューアル工事の企画・設計・施工、コンクリート部材の供給
	大成設備(株) 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-9-2 フジ・エステイト新宿第1ビル Tel 03-5308-7611 (代表)	空調・衛生・電気他設備工事業
	大成建設ハウジング(株) 〒163-1019 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー Tel 03-5339-8026 (経営管理部)	コンクリート住宅「パルコン」、ツーバイフォー住宅「空間王」の設計・施工・販売
	成和リニューアールワークス(株) 〒163-0610 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル Tel 03-5326-0710 (代表)	建設・産業機械の製作・販売、土木建築の基礎工事等
開発事業	有楽土地(株) 〒104-8330 東京都中央区京橋3-13-1 有楽ビル Tel 03-3567-9411 (代表)	不動産の分譲・賃貸・斡旋・鑑定・コンサルティング、保険代理業 東証2部上場
その他事業	大成サービス(株) 〒104-8332 東京都中央区京橋3-12-2 京橋第2有楽ビル Tel 03-3567-9231 (代表)	ビル・マンション等の管理、警備等
	ケーヨーリゾート開発(株) 〒279-0031 千葉県浦安市舞浜1-9 Tel 047-355-5555 (代表)	シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルの経営
海外事業	大成コンストラクション 米国・カリフォルニア州	米国における建設工事全般



歳月を友とする贅沢がある。

この家が備えているのはエイジングという愉悦、贅沢。
歳月を友として、住む人の趣味や嗜好を雄弁に物語ります。

その風格ある佇まいを支えるのは、

耐震性・耐久性に優れた、独創の強靱な構造体。

住まうことの頂点へ、大成建設の木の家「空間王 エイジング」。

空間王
AGING



スーパーゼネコンがつくる

大成建設の家

大成建設株式会社 住宅事業本部

お問い合わせ先

☎0120-197-406

<http://www.homestyle.taisei.co.jp/>

株主メモ

- 1 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 2 定時株主総会** 6月中
- 3 基準日** 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
- 4 上場証券取引所** 東京・大阪・名古屋
- 5 株主名簿管理人** みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒135-8722
（郵便物送付先） 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
及びお問合せ） みずほ信託銀行株式会社証券代行部
電話 0120(288)324（フリーダイヤル）
- 同取次所** みずほ信託銀行株式会社全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社本店及び全国各支店
- 手数料** ①名義書換：無料
②株券再発行：株券1枚につき210円（消費税額等を含む）但し、併合及び満欄の場合は無料
③単元未満株式の買取・買増：株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額及びこれに係る消費税額等の合計額
④株券喪失登録：請求1件につき10,500円（消費税額等を含む）、喪失登録する株券1枚につき525円（消費税額等を含む）
- 6 公告の方法** 電子公告
公告掲載URL(<http://www.taisei.co.jp/>)
但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。

【お知らせ】

●配当金のお支払いについて

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。下記の配当金につきましては、お支払期限が迫っておりますので再度ご確認をお願いします。

（お支払期限）

・144期中間配当金：2006年12月11日・144期利益配当金：2007年6月28日

※振込方式による配当金の受領にご変更の場合は、同封の『配当金振込指定書』の裏面をご覧ください。



地図に残る仕事。

大成建設株式会社

〒163-0606 東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 電話03(3348)1111

<http://www.taisei.co.jp/>